



サイレント

- [サイレントの概要（1 ページ）](#)
- [サイレントの設定のタスク フロー（2 ページ）](#)
- [応答不可の連携動作と制限事項（11 ページ）](#)
- [応答不可のトラブルシューティング（14 ページ）](#)

サイレントの概要

サイレント（DND）は、次のオプションを提供します。

- [コール拒否（Call Reject）]: このオプションは、着信コールが拒否されるように指定します。[DND 着信呼警告（DND Incoming Call Alert）] パラメータの設定に応じて、電話はビープを再生するか、コールの点滅通知を表示します。
- [呼出音オフ（Ringer Off）]: このオプションは、呼出音をオフにしますが、ユーザがコールを受け付けられるように、着信コール情報をデバイスに表示します。

DND を有効にすると、通常の優先順位の新しい着信コールすべては、デバイスの DND 設定を受け入れます。Cisco Emergency Responder（CER）のコールや、Multilevel Precedence and Preemption（MLPP）のコールなど、優先順位の高いコールの場合、デバイスの呼出音が鳴ります。さらに、DND を有効にすると、自動応答機能は無効になります。

ユーザは、次の方法により電話でサイレントを有効化できます。

- ソフトキー
- 機能ボタン
- Cisco Unified Communications セルフケア ポータル



（注） Cisco Unified Communications Manager から電話ごとに、この機能を有効または無効にすることもできます。

電話機の動作

サイレントを有効にすると、Cisco Unified IP Phoneに「サイレントが有効になっています (Do Not Disturb is active)」「」というメッセージが表示されます。一部の Cisco Unified IP Phone には、DND ステータスアイコンが表示されます。個々の電話モデルがサイレントを使用する方法の詳細については、特定の電話モデルに関するユーザガイドを参照してください。

DND を有効にすると、[Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] の [着信呼警告 (Incoming Call Alert)] で指定されているとおりに、電話への着信コール通知をユーザは受信しますが、優先順位の高いコール (Cisco Emergency Responder のコールや MLPP のコールなど) の場合を除いて電話が鳴ることはありません。また、電話が鳴っているときに DND を有効にすると、電話は呼出音を停止します。

ステータス通知

サイレントは、SIP デバイスと Cisco Skinny Call Control Protocol (SCCP) デバイスの両方でサポートされています。

SIP 電話は、SIP PUBLISH メソッドを使用して、DND ステータスの変更を Cisco Unified Communications Manager に通知します。Cisco Unified Communications Manager は、Remote-cc REFER 要求を使用して、DND ステータスの変更を SIP 電話に通知します。

SCCP 電話は、SCCP メッセージングを使用して、DND ステータスの変更を Cisco Unified Communications Manager に通知します。

サイレントの設定のタスクフロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
Step 1	電話機能一覧の生成	どの電話がサイレント設定をサポートしているかを確認するには、[Cisco Unified Reporting] から電話機能レポート一覧を実行します。 (注) SIP を実行する Cisco Unified IP Phone 7940 および 7960 は、サイレント機能の下位互換性を実装しており、SIP プロファイルで設定できます。
Step 2	話中ランプ フィールド ステータスの設定 (3 ページ)	話中ランプフィールドのステータスのサービス パラメータを設定します。
Step 3	共通の電話プロファイルでのサイレントの設定 (4 ページ)	これはオプションです。共通の電話プロファイルに対するサイレント設定ネットワーク内にある電話機のグループに対して

	コマンドまたはアクション	目的
		サイレント設定を適用するには、プロファイルで設定します。
Step 4	電話へのサイレント設定の適用（5 ページ）。	電話にサイレント設定を適用します。
Step 5	ソフトキーまたは機能ボタンのどちらを使用しているかによって、次のタスクのいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> サイレント機能ボタンの設定（6 ページ） [サイレント（Do Not Disturb）] ソフトキーの設定（8 ページ） 	電話機にサイレント機能ボタンまたはソフトキーを追加します。

話中ランプフィールドステータスの設定

[BLF ステータスが DND を示す（BLF Status Depects DND）] サービスパラメータを設定することにより、話中ランプフィールド（BLF）ステータスでサイレント（DND）を示す方法を設定します。BLF ステータスを設定するには、次の手順を実行します。

始める前に



- (注)
- DND のビジューランプフィールド（BLF）のプレゼンスステータスは、その共有回線 DN のすべての登録済みデバイスが DND に設定されている場合のみ機能します。
 - 同じ DN で iOS 版 Jabber または Android 版 Jabber を使用している場合は、登録済みではなく設定されたばかりの場合でも、登録済みと見なされます。

電話機能一覧の生成

手順

- Step 1** [Cisco Unified CM の管理（Cisco Unified CM Administration）] で、[システム（System）] > [サービスパラメータ（Service Parameters）] の順に選択します。
- Step 2** 設定するサーバの [Cisco CallManager] サービスを選択します。
- Step 3** [クラスタ全体のパラメータ（システム - プレゼンス）（Clusterwide Parameters（System - Presence））] ペインで、[BLF ステータスが DND を示す（BLF Status Depects DND）] サービスパラメータに次のいずれかの値を指定します。
- はい（True）： デバイスでサイレントが有効になっている場合、そのデバイスまたはラインアピアランスの BLF ステータス インジケータにサイレント状態が反映されます。

- いいえ (False) : デバイスでサイレントが有効になっている場合、そのデバイスまたはラインアピアランスの BLF ステータス インジケータに実際のデバイス状態が反映されます。

次のタスク

次のいずれかの手順を実行します。

[共通の電話プロフィールでのサイレントの設定 \(4 ページ\)](#)

[電話へのサイレント設定の適用 \(5 ページ\)](#)

共通の電話プロフィールでのサイレントの設定

共通の電話プロフィールを使用すると、サイレントを設定し、そのプロフィールを使用するネットワーク内の電話のグループにこれらの設定を適用できます。

始める前に

[話中ランプフィールドステータスの設定 \(3 ページ\)](#)

手順

- Step 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] で、[デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [共通の電話プロフィール (Common Phone Profile)] を選択します。
- Step 2** [DND オプション (DND Option)] ドロップダウン リストから、サイレント機能による着信コールの処理方法を選択します。
- [コール拒否 (Call Reject)]: 着信コール情報がユーザに表示されません。[DND 着信呼警告 (DND Incoming Call Alert)] パラメータの設定に応じて、電話はビープを再生するか、コールの点滅通知を表示します。
 - [呼出音オフ (Ringer Off)]: このオプションは、呼出音をオフにしますが、着信コール情報がデバイスに表示されるため、ユーザはコールを受け付けることができます。
- (注) 携帯電話とデュアルモード電話の場合、[コール拒否 (Call Reject)] オプションのみを選択できます。
- Step 3** [着信コールアラート (Incoming Call Alert)] ドロップダウン リストから、サイレントがオンになっている場合に電話ユーザに着信コールを警告する方法を選択します。
- [無効 (Disable)]: コールのビープ通知とフラッシュ通知は障がい者向けです。DND の [呼出音オフ (Ringer Off)] オプションを設定すると、着信コール情報は引き続き表示されます。ただし、[DND コール拒否 (DND Call Reject)] オプションの場合、コールアラートが表示されず、デバイスに情報が送信されません。
 - [フラッシュのみ (Flash Only)]: 電話は着信コールをフラッシュします。

- [ビープ音のみ (Beep Only)]: 電話に着信コールのフラッシュ アラートが表示されます。

Step 4 [保存 (Save)] をクリックします。

電話へのサイレント設定の適用

この手順は、Cisco Unified IP Phone でサイレント設定を適用する方法について説明します。[Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] で [電話機の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウから、DND 設定を適用できます。または、共通の電話プロファイルに DND 設定を適用して、そのプロファイルを電話機に適用できます。

始める前に

共通の電話プロファイルを使用している場合、[共通の電話プロファイルでのサイレントの設定 \(4 ページ\)](#) を実行してください。

それ以外の場合は、[を](#)実行してください。[話中ランプ フィールド ステータスの設定 \(3 ページ\)](#)

手順

Step 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] を選択します。

Step 2 [検索 (Find)] をクリックして、サイレント設定を適用する電話機を選択します。

Step 3 共通の電話プロファイルからサイレント設定を適用するには、[共通の電話プロファイル (Common Phone Profile)] ドロップダウンリストから、サイレント設定を適用したプロファイルを選択します。

Step 4 電話機でサイレント設定を有効にする場合は、[サイレント (Do Not Disturb)] チェックボックスをオンにします。

Step 5 [DND オプション (DND Option)] ドロップダウンリストで、DND 機能を使用した着信コールの処理方法を次のオプションから選択します。

- [コール拒否 (Call Reject)]: 着信コール情報がユーザに表示されません。設定に応じて、電話機からビープ音が鳴るか、フラッシュ通知が表示されます。
- [呼出音オフ (Ringer Off)]: ユーザがコールに応答できるよう着信コール情報がデバイスに表示されますが、呼出音は鳴りません。
- [共通プロファイル設定を使用 (Use Common Profile Setting)]: このデバイスに指定された共通の電話プロファイルのサイレント設定が使用されます。

(注) SCCP を実行している 7940/7960 電話の場合、選択できるのは [呼出音オフ (Ringer Off)] オプションだけです。携帯デバイスとデュアルモード電話の場合、[コール拒否 (Call Reject)] オプションのみを選択できます。携帯デバイスまたはデュアルモード電話機で [DND コール拒否 (DND Call Reject)] をアクティブにすると、デバイスにコール情報が表示されません。

Step 6 [DND 着信コール アラート (DND Incoming Call Alert)] ドロップダウン リストで、DND がオンの場合に電話機で着信コールを表示する方法を次のオプションから選択します。

- [なし (None)]: 共通の電話プロファイルの DND 着信コール アラートの設定がこのデバイスで使用されます。
- [無効 (Disable)]: DND 呼出音オフ オプションでは、ビープ音およびフラッシュ通知の両方が無効ですが、着信コール情報は表示されます。コール拒否オプションでは、ビープ音およびフラッシュ通知が無効になり、着信コール情報はデバイスに送られません。
- [ビープ音のみ (Beep only)]: 着信コールの際、ビープ音のみ再生されます。
- [フラッシュのみ (Flash only)]: 着信コールの際、フラッシュ アラートが表示されます。

Step 7 [保存 (Save)] をクリックします。

次のタスク

次のいずれかの手順を実行します。

[サイレント機能ボタンの設定 \(6 ページ\)](#)

[\[サイレント \(Do Not Disturb\)\] ソフトキーの設定 \(8 ページ\)](#)

サイレント機能ボタンの設定

Cisco Unified IP Phone にサイレント機能ボタンを追加するには、次の手順を実行します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
Step 1	サイレントの電話ボタン テンプレートの設定 (6 ページ)	サイレント ボタンを含む電話ボタン テンプレートを作成します。
Step 2	電話機とボタン テンプレートの関連付け	サイレント ボタン テンプレートを電話に関連付けます。

サイレントの電話ボタン テンプレートの設定

[サイレント (Do Not Disturb)] ボタンが含まれている電話ボタン テンプレートを設定するには、次の手順に従います。

手順

Step 1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [電話ボタン テンプレート (Phone Button Template)]。

Step 2 [検索 (Find)] をクリックして、サポートされる電話テンプレートのリストを表示します。

- Step 3** 新しい電話ボタンテンプレートを作成する場合は、この手順を実行します。それ以外の場合は、次のステップに進みます。
- a) 電話機モデルのデフォルトのテンプレートを選択し、[コピー (Copy)] をクリックします。
 - b) [電話ボタンテンプレート情報 (Phone Button Templates Information)] フィールドに、テンプレートの新しい名前を入力します。
 - c) [保存 (Save)] をクリックします。
- Step 4** 既存のテンプレートに電話ボタンを追加するには、次の手順を実行します。
- a) [検索 (Find)] をクリックして、検索条件を入力します。
 - b) 既存のテンプレートを選択します。
- Step 5** [回線 (Line)] ドロップダウンリストから、テンプレートに追加する機能を選択します。
- Step 6** [保存 (Save)] をクリックします。
- Step 7** 次のいずれかの操作を実行します。
- すでにデバイスに関連付けられているテンプレートを変更した場合は、[設定の適用 (Apply Config)] をクリックしてデバイスを再起動します。
 - 新しいソフトキーテンプレートを作成した場合は、そのテンプレートをデバイスに関連付けた後にデバイスを再起動します。

電話機とボタンテンプレートの関連付け

始める前に

[サイレントの電話ボタンテンプレートの設定 \(6 ページ\)](#)

手順

-
- Step 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)]。
- Step 2** [検索 (Find)] をクリックして、設定済みの電話のリストを表示します。
- Step 3** 電話ボタンテンプレートを追加する電話を選択します。
- Step 4** [電話ボタンテンプレート (Phone Button Template)] ドロップダウンリストで、新しい機能ボタンが含まれる電話ボタンテンプレートを選択します。
- Step 5** [保存 (Save)] をクリックします。
電話の設定を更新するには [リセット (Reset)] を押すというメッセージ付きのダイアログボックスが表示されます。
-

[サイレント (Do Not Disturb)] ソフトキーの設定

(オプション) 電話機でソフトキーを使用する場合、次のタスクを実行して、電話にサイレントソフトキーを追加します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
Step 1	サイレントのソフトキーテンプレートの設定 (8 ページ)	[サイレント (Do Not Disturb)] ソフトキーを含むソフトキーテンプレートを作成します。
Step 2	次のいずれかの手順を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> 共通デバイス設定とソフトキーテンプレートの関連付け (9 ページ) 電話とソフトキーテンプレートの関連付け (11 ページ) 	[共通デバイス設定 (Common Device Configuration)] にソフトキーを関連付けて、電話グループにその設定を関連付けるか、電話機にソフトキーテンプレートを直接関連付けることができます。

サイレントのソフトキーテンプレートの設定

[サイレント (Do Not Disturb)] ソフトキーを含むソフトキーテンプレートを設定するには、次の手順を実行します。

手順

-
- Step 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [ソフトキーテンプレート (Softkey Template)] を選択します。
- Step 2** 新しいソフトキーテンプレートを作成するには、この手順を実行します。それ以外の場合は、次のステップに進みます。
- [新規追加 (Add New)] をクリックします。
 - デフォルトのテンプレートを選択して、[コピー (Copy)] をクリックします。
 - [ソフトキーテンプレート名 (Softkey Template Name)] フィールドに、テンプレートの新しい名前を入力します。
 - [保存 (Save)] をクリックします。
- Step 3** 既存のテンプレートにソフトキーを追加するには、次の手順を実行します。
- [検索 (Find)] をクリックして、検索条件を入力します。
 - 必要な既存のテンプレートを選択します。
- Step 4** [デフォルトソフトキーテンプレート (Default Softkey Template)] チェックボックスをオンにし、このソフトキーテンプレートをデフォルトのソフトキーテンプレートとして指定します。

(注) あるソフトキーテンプレートをデフォルトのソフトキーテンプレートとして指定した場合、先にデフォルトの指定を解除してからでないと、そのテンプレートは削除することができません。

- Step 5** 右上隅にある [関連リンク (Related Links)] ドロップダウン リストから [ソフトキー レイアウトの設定 (Configure Softkey Layout)] を選択し、[移動 (Go)] をクリックします。
- Step 6** [設定するコール状態の選択 (Select a Call State to Configure)] ドロップダウン リストから、ソフトキーに表示するコール状態を選択します。
- Step 7** [選択されていないソフトキー (Unselected Softkeys)] リストから追加するソフトキーを選択し、右矢印をクリックして [選択されたソフトキー (Selected Softkeys)] リストにそのソフトキーを移動します。新しいソフトキーの位置を変更するには、上矢印と下矢印を使用します。
- Step 8** 追加のコール状態でのソフトキーを表示するには、前述のステップを繰り返します。
- Step 9** [保存 (Save)] をクリックします。
- Step 10** 次のいずれかの操作を実行します。
- すでにデバイスに関連付けられているテンプレートを変更した場合は、[設定の適用 (Apply Config)] をクリックしてデバイスを再起動します。
 - 新しいソフトキー テンプレートを作成した場合は、そのテンプレートをデバイスに関連付け た後にデバイスを再起動します。詳細については、「共通デバイス設定へのソフトキー テンプレートの追加」と「電話機のセクションとソフトキー テンプレートの関連付け」を参照してください。

次のタスク

次のいずれかの手順を実行して、ソフトキー テンプレートを電話に追加します。

[共通デバイス設定とソフトキー テンプレートの関連付け \(9 ページ\)](#)

[電話とソフトキー テンプレートの関連付け \(11 ページ\)](#)

共通デバイス設定とソフトキー テンプレートの関連付け

[サイレント (Do Not Disturb)] (DND) ソフトキー テンプレートを共通デバイス設定に関連付けるときに、DND ソフトキーを共通デバイス設定にて使用する Cisco Unified IP Phone のグループに追加できます。

始める前に

[サイレントのソフトキー テンプレートの設定 \(8 ページ\)](#)

手順

	コマンドまたはアクション	目的
Step 1	共通デバイス設定へのソフトキー テンプレートの追加 (10 ページ)	共通デバイス設定に DND ソフトキー テンプレートを関連付けます。

	コマンドまたはアクション	目的
Step 2	電話機と共通デバイス設定の関連付け (10 ページ)	電話に共通デバイス設定を関連付けることで、電話に DND ソフトキーを追加します。

共通デバイス設定へのソフトキーテンプレートの追加

手順

-
- Step 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [共通デバイス設定 (Common Device Configuration)] を選択します。
- Step 2** 新しい共通デバイス設定を作成し、それにソフトキーテンプレートを関連付けるには、この手順を実行します。それ以外の場合は、次のステップに進みます。
- [新規追加 (Add New)] をクリックします。
 - [名前 (Name)] フィールドに、共通デバイス設定の名前を入力します。
 - [保存 (Save)] をクリックします。
- Step 3** 既存の共通デバイス設定にソフトキーテンプレートを追加するには、次の手順を実行します。
- [検索 (Find)] をクリックして、検索条件を入力します。
 - 既存の共通デバイス設定をクリックします。
- Step 4** [ソフトキーテンプレート (Softkey Template)] ドロップダウンリストで、使用可能にするソフトキーが含まれているソフトキーテンプレートを選択します。
- Step 5** [保存 (Save)] をクリックします。
- Step 6** 次のいずれかの操作を実行します。
- すでにデバイスに関連付けられている共通デバイス設定を変更した場合は、[設定の適用 (Apply Config)] をクリックしてデバイスを再起動します。
 - 新しい共通デバイス設定を作成してその設定をデバイスに関連付けた後に、デバイスを再起動します。
-

電話機と共通デバイス設定の関連付け

始める前に

[共通デバイス設定とソフトキーテンプレートの関連付け \(9 ページ\)](#)

手順

-
- Step 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)]。
 - Step 2** [検索 (Find)] をクリックし、ソフトキーテンプレートを追加する電話デバイスを選択します。
 - Step 3** [共通デバイス設定 (Common Device Configuration)] ドロップダウンリストから、新しいソフトキーテンプレートが含まれている共通デバイス設定を選択します。
 - Step 4** [保存 (Save)] をクリックします。
 - Step 5** [リセット (Reset)] をクリックして、電話機の設定を更新します。
-

電話とソフトキー テンプレートの関連付け

[サイレント (Do Not Disturb)] ソフトキーを含むソフトキーテンプレートを設定していて、そのソフトキーテンプレートを電話に関連付けるには、次の手順を実行します。

始める前に

[サイレントのソフトキーテンプレートの設定 \(8 ページ\)](#)

手順

-
- Step 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)]。
 - Step 2** [検索 (Find)] をクリックして、ソフトキーテンプレートを追加する電話を選択します。
 - Step 3** [ソフトキーテンプレート (Softkey Template)] ドロップダウンリストから、新しいソフトキーが含まれているテンプレートを選択します。
 - Step 4** [保存 (Save)] をクリックします。
 - Step 5** [リセット (Reset)] を押して、電話機の設定を更新します。
-

応答不可の連携動作と制限事項

このセクションでは、サイレントの連携動作と制限事項に関して説明します。

連携動作

次の表に、サイレント (DND) 機能の連携動作を示します。特に指定されていない限り、連携動作はサイレント呼び出し音オフおよびサイレント コール拒否オプションの両方に適用されます。

機能	サイレントとの連携動作
すべてのコールの転送	Cisco Unified IP Phone では、サイレント（DND）機能がアクティブであることを示すメッセージがユーザに新しいボイス メッセージが届いていることを示すメッセージよりも優先されます。ただし、不在転送機能がアクティブであることを通知するメッセージが DND よりも優先されません。
パークの復帰	<p>ローカルにパークされたコールでは、パークの復帰がサイレントよりも優先されます。電話 A のサイレントがオンでコールがパークされた場合、電話 A へのパークの復帰が発生し、電話 A の呼び出し音が鳴ります。</p> <p>リモートにパークされたコールでは、サイレントがパークの復帰よりも優先されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話 A がサイレント着信音オフを有効化し、電話 A-prime と回線を共有する場合、電話 A-prime がコールをパークすると、電話 A のパークの復帰はサイレント設定に従い、呼び出し音は鳴りません。 電話 A がサイレント コール拒否を有効化した場合、パークの復帰は電話 A に表示されません。
ピック	<p>ローカルで発行されたピックアップ要求の場合、ピックアップがサイレントよりも優先されます。電話 A のサイレントがオンで、任意のタイプのピックアップを開始した場合、ピックアップ コールは通常どおり表示され、電話 A の呼び出し音が鳴ります。</p> <p>リモートで発行されたピックアップ要求の場合、サイレントが次のようにピックアップよりも優先されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話 A がサイレント着信音オフ モードで電話 A-prime と回線を共有する場合、電話 A-prime がピックアップを開始すると、電話 A へのピックアップ コールはサイレント設定に従い、電話 A の呼び出し音は鳴りません。 電話 A がサイレント コール拒否モードの場合、ピックアップ コールは電話 A に表示されません。
保留復帰とインターコム	保留復帰とインターコムはサイレントよりも優先され、コールは通常どおり表示されます。
MLPP と CER	Multilevel Precedence and Preemption（SCCP を実行している電話）および Cisco Emergency Responder コールはサイレントよりも優先されます。Multilevel Precedence and Preemption および Cisco Emergency Responder コールは通常どおり表示され、電話呼出音は SCCP と SIP の両方でサポート鳴ります。

機能	サイレントとの連携動作
折り返し	<p>発信側では折り返しがサイレントよりも優先されます。有効化デバイスがサイレントモードの場合、折り返し通知（音声と表示の両方）は引き続きユーザに表示されます。</p> <p>着信側では、次のようにサイレントが折り返しよりも優先されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 着信側がサイレント着信音オフの場合、着信側がオフフックおよびオンフックになった後で、[折り返し使用可能 (Callback Available)] 画面が送信されます。 • 着信側がサイレントコール拒否で使用可能な場合、有効化デバイスが同じクラスタ内であれば、新しい画面が有効化デバイスに送信され、「<DirectoryNumber> は応答可能になりましたが、サイレントコール拒否状態です (<DirectoryNumber> has become available but is on DND-R)」と表示されます。折り返し使用可能通知は着信側がサイレントコール拒否を無効化した後にのみ送信されます。
ピックアップ通知	<p>サイレント着信音オフ オプションの場合、デバイスに視覚的な通知のみが表示されます。</p> <p>サイレント コール拒否オプションの場合、デバイスに通知は表示されません。</p>
ハント リスト	<p>ハント リスト内のデバイスでサイレント着信音オフが有効化されている場合でも、コールは引き続きユーザに表示されます。ただし、DND 着信呼警告の設定は引き続き適用される場合があります。</p> <p>ハント リスト内のデバイスでサイレント コール拒否が有効化されている場合、そのハント リストへの任意のコールは次のメンバーへ移り、このデバイスには送信されません。</p>
Extension Mobility	<p>Extension Mobility の場合、デバイス プロファイル設定に DND 着信呼警告とサイレント ステータスが含まれます。ユーザがログインしてサイレントを有効にすると、DND 着信呼警告とサイレントステータスの設定が保存され、ユーザが再度ログインするとこれらの設定が使用されます。</p> <p>(注) Extension Mobility にログインしているユーザが DND 着信呼警告またはサイレントステータスの設定を変更しても、このアクションは実際のデバイス設定に影響しません。</p>

[Restrictions (機能制限)]

使用中の電話機やデバイスの種類によっては、DND の使用にいくつかの制限事項が適用されます。

- SCCP を実行している次の電話機のモデルやデバイスは、DND の [呼出音オフ (Ringer Off)] オプションのみサポートしています。

- Cisco Unified IP Phone 7940
- Cisco Unified IP Phone 7960
- Cisco IP Communicator



(注) SIP を実行する Cisco Unified IP Phone 7940 および 7960 は、独自のサイレント機能を実装して使用しており、これには後方互換性があります。

- 次の電話機のモデルやデバイスは、DNDの[コール拒否 (Call Reject)] オプションのみをサポートしています。
 - モバイルデバイス (デュアルモード)
 - リモート宛先プロファイル
 - Cisco Unified Mobile Communicator

応答不可のトラブルシューティング

ここでは、Cisco Unified IP Phone (SCCP および SIP) 向けのトラブルシューティング情報を提供します。

SIP 電話の場合、次の情報を使用してトラブルシューティングを行います。

- デバッグ: sip-dnd、sip-messages、dnd-settings
- 表示: config、dnd-settings
- スニファトレース

SCCP 電話の場合、次の情報を使用してトラブルシューティングを行います。

- デバッグ: jvm all info
- スニファトレース

トラブルシューティングのエラー

次の表に、サイレントのエラーをトラブルシューティングする方法について説明します。

症状	アクション
<p>DND ソフトキーが表示されません。</p> <p>または</p> <p>DND 機能ボタンが表示されません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • この電話のソフトキーまたはボタンテンプレートが DND に含まれていることを確認します。 • スニファトレースをキャプチャし、電話に正しいソフトキーまたはボタンテンプレートが設定されていることを確認します。 • 電話ファームウェアのバージョンが 8.3(1) 以降であることを確認します。
<p>BLF 短縮ダイヤルには DND ステータスは表示されません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • BLF DND がエンタープライズパラメータで有効に設定されていることを確認します。 • スニファトレースをキャプチャし、電話に正しい通知メッセージが設定されていることを確認します。 • 電話ファームウェアのバージョンが 8.3(1) 以降であることを確認します。
<p>DND の変更は、モニタリングデバイスに反映されません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • BOT/TCT デバイスが、DND 状態が OFF に設定されている共有回線デバイスであるかどうかを確認します。状態が ON の場合、他のシェアラインの DND 状態への変更は反映されません。 • モニタリングする回線の DND ステータスの変更を反映するために、BOT/TCT デバイスの DND ステータスが OFF に設定されていることを確認します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。